

来訪者に合わせた映像・音声・通信によるメッセージを提供

Evacuation Guidance Support System

避難誘導支援システム

お客様の課題

- 災害情報や避難誘導の多言語化、文字等による視覚化の必要性を感じている。
- 障がいを持った方など、施設利用者の様々な特性に応じた案内を行いたい。
- 火災・地震などの発報があった際、迅速に施設内の状況を把握したい。

お客様へのご提案

- 避難誘導支援システムは、来訪者に合わせたメッセージを提供いたします。
- 多言語放送：多言語による音声メッセージ放送をします。
- サイネージ：多言語によるメッセージで、緊急時における情報を表示します。
- 監視カメラ連携：防災センターなどのモニターを出火階のカメラ映像に切り替えます。
- 情報配信：配信システムによる情報発信を行います。

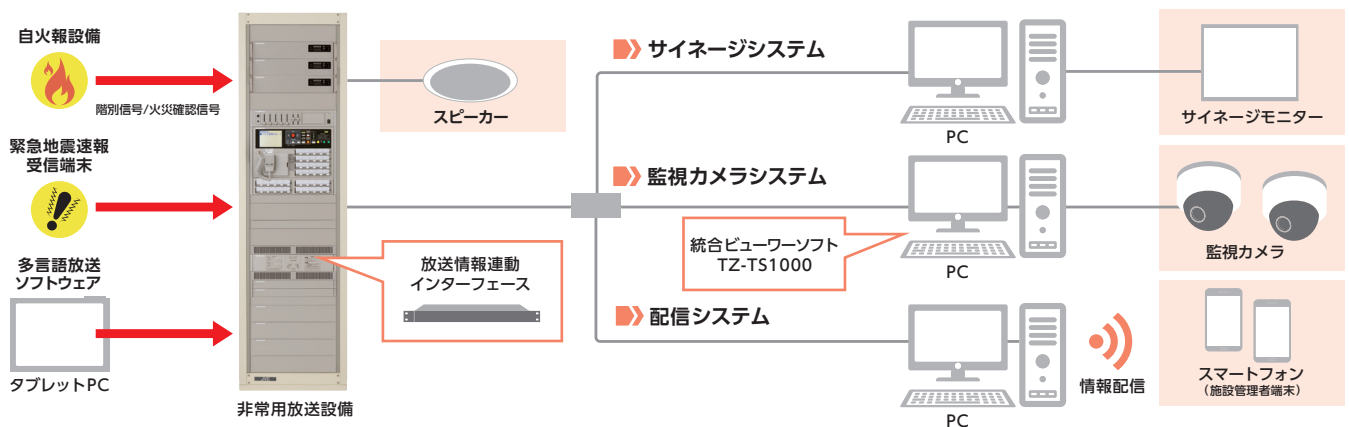


「外国人来訪者や障害者等が利用する施設における災害情報の伝達及び避難誘導に関するガイドライン」の主な内容

＜施設において取り組むことが望ましい事項＞

- 1 デジタルサイネージやスマートフォンアプリ、フリップボード等の活用などによる災害情報や避難誘導に関する情報の多言語化・文字等による視覚化
- 2 障害など施設利用者の様々な特性に応じた避難誘導（避難の際のサポート等）
- 3 外国人来訪者や障害者等に配慮した避難誘導等に関する従業員等への教育・訓練の実施（2018年3月29日 消防庁公表）

システム構成例



●記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。 ●仕様および外観は、予告なく変更することがあります。 ●画面はハメコミ合成です。